

しroyama 舟ヶ谷の城山

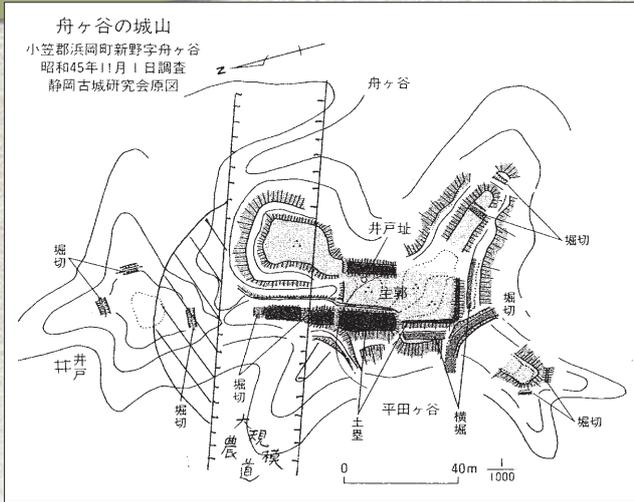
—新野氏の居城—

舟ヶ谷の城山は、新野地区の中心部に張り出した篠ヶ谷、有ヶ谷、平田ヶ谷にまたがる山の先端部に築かれ、新野氏の居城と伝えられています。城の麓に残る「とんのびら」「おおえ」「おおした」などの古地名から、城主や家来、農民などが雑居する原始的な城下町「根小屋」集落が形成されていたことがわかります。

本城は、主郭部分が大規模農道の建設や採土により失われ、城跡への入り口も不明であったため、整備が遅れていましたが、今回の大河ドラマを機会に整備が始まり、8カ所以上の堀切（※）や横堀が良好な状態で残っていることがわかってきました。

今後は、「新野左馬助」の居城を訪れる散策コースの整備が待たれます。

※堀切…尾根筋からの敵の侵入を阻むため、尾根を堀で切った山城特有の防御手段



▲舟ヶ谷の城山の縄張図(鈴木東洋氏「城きちがいの寝言」より引用)



▲堀切の現在の様子

大河ドラマ「おんな城主 直虎」
応援プロジェクト

照会 社会教育課 ☎0548⑧1129

Atomic

暮らしと原子力

浜岡原子力発電所
海拔22m防波壁の設置完了

県は市の立ち会いの下、平成23年11月から浜岡原子力発電所の安全性向上対策工事を点検してきました。市は、平成28年1月21日に実施した第48回の点検において、防波壁の設置が完了していることを確認しました。市担当者は、中部電力に対し「防波壁の工事について、原子力規制委員会の審査は継続中であるが、計画された点検は全て完了し、基準を満足していることを確認した」と講評しました。防波壁は、総延長1.6キロ、高さは海拔22mあり、内閣府が想定する最大クラスの津波を想定し、約4年の歳月を掛け完成に至りました。(防波壁と接続する改良盛土工事の完了は、本年3月頃の予定)



▲県と市が工事現場を確認してる様子

また、市ではより多くの市民の皆さんにこの安全性向上対策の現状を見ていただく機会として、見学会を計画しています。開催は、3月8日(火)・9日(水)の予定です。見学会の詳しい内容は、市役所秘書政策課原子力政策室(☎0537⑧1134)までお問い合わせください。